

夢作文コンクール村長賞（最優秀）受賞作文

## 「職場体験を通して」

安富祖中学校2年 波照間 笑舞



私は職場体験で安富祖幼稚園に行きました。そこで私は、園児たちと一緒に遊んだり、前に出て遊びを教えたり、先生方と一緒に話し合いをしたりしました。職場体験が終了してからの感想は、「先生方は一つの遊びの中でも目的とするものがたくさんあること、本当に一人の園児をじっくり観察していること、反省点から具体的な解決策を見つけて出していることなど、園児のために思って行動していることに、心を育む教育を遊びの中でしていることに強い衝撃を受け、とても感心した」ということになりました。

ですが、私には一つ後悔していることがあり、それは、これからの学校生活や社会生活でも重要なのではないかと強く思います。私が後悔していること、それは、体験する前に自分の予想や考え、具体的なイメージなどを持つことです。私は、職場体験が終わって初めて、「職場体験をして終わって感じたことはたくさんあるけど、自分は体験前にどんな考えを持っていたのだろうか」という疑問を持ちました。そして、答えを思い出すことができませんでした。

私は将来の夢がまだはっきりと決まっています。ですが、どんな仕事にも共通して言えることは、仕事をする前の考えや知識、思いなどをしっかりと胸に刻むことが大事なことだと思います。そうすることで、よりの確な振り返りが後にできると思いますし、今自分がしていることへの意欲も増すと思うからです。ですから、私は、これからの学校生活・社会生活において、様々な行動や課題を乗り越えていくときは、経験する前に考えたことなどをしっかりと思い浮かべていきたいと思います。

体験前の自分の意見、それがどんな仕事についても通用する必殺技なのだと私は思います。

恩納村学校支援  
地域本部事業

### 学校支援ボランティア活動報告⑱

## できる人が、できる時に、できることを

**【安富祖校】**「自分と地域の未来像を探ろう」をテーマに、中学3年生が福祉の視点から考え、自ら計画するボランティア活動に取り組みました。恩納村社会福祉協議会の協力のもと、2か月にわたる5日間のプログラムで事前学習や老人会との交流を図り、地域のお年寄り宅のニーズ調査に基づいて計画した作業（窓掃除・庭の草刈り・網戸の交換等）を行い、大変喜んでもらうことができました。10月16日に行われた実践報告会では、活動に対する感謝状が社協より生徒たちへ贈られました。生徒たちを受け入れ、活動の場を提供して下さった地域の方々へ感謝致します。



**【仲泊校】**10月11日、中学2年生の調理実習で東久子さん・當山スミ子さん・玉山米子さん・池宮城恭子さんが沖縄そば作り講師をしてくださいました。グループごとの指導や安全管理もしていただき、全員が楽しんで麺を完成させることができました。また、最後には講師手作りの美味しいスープで、出来立ての沖縄そばを試食することができました。大変ありがとうございました。

お問い合わせ：☎966-1210（教育委員会 社会教育課 担当：比嘉・安永）